## 数学 III

第5章「積分法」

4. f (ax+b) の不定積分

hm3-5-4

(pdf ファイル)



## 積分の理論

- ■積分の基礎概念 原始関数,不定積分, 定積分
- ■不定積分の計算の理論
- ●不定積分の線型性
- 不定積分の計算技法
  - ・置換積分法
  - ・部分積分法
  - · 部分分数分解

- ■定積分の計算の理論
  - ●定積分の線型性
  - ●加法性
  - ●定積分の計算技法
    - ・置換積分法
    - ・部分積分法
- ■区分求積法
- ■定積分の評価
- ■定積分が定める関数

## 了(0年46)の不定遺分

関数 f(x) の原始関数の一つを F(x) とする. すなわち, F'(x)=f(x) であるとする.

a,b を定数として、関数 F(ax+b) を考え、これをxで微分すると、

$$(F(ax+b))'=$$

## f(ax+b)の不定積分

関数 f(x) の原始関数の一つを F(x) とすると,

$$\int f(ax+b) \ dx = \frac{1}{a}F(ax+b) + C$$

が成り立つ. ただし, a, b は定数で,  $a \neq 0$  とする.



$$ightharpoonup \int (2x+1)^5 \ dx =$$

$$a \neq 0$$
 のとき,

$$\int e^{ax+b} \; dx =$$

$$\int \cos(ax+b) dx =$$

$$\int \frac{1}{ax+b} dx =$$



$$Arr$$
  $\int \sin 3x \cos 2x \ dx =$